

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

北海道札幌市 札幌病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	37	対象	透し未訓ガ	救臨が感災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,955,678	62,339	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

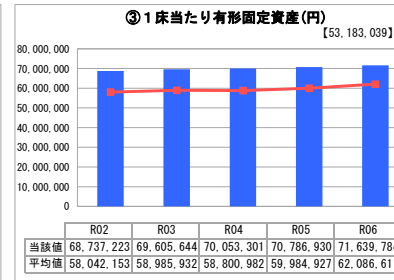
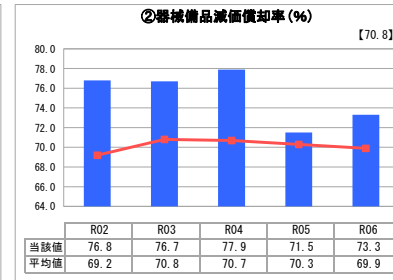
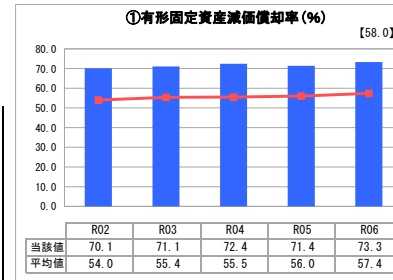
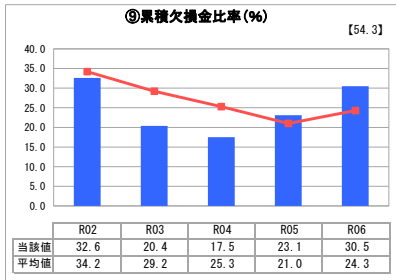
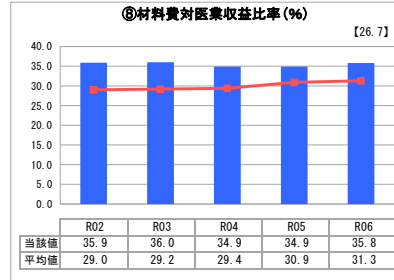
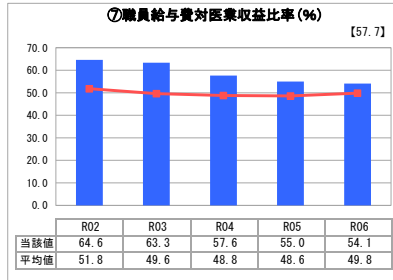
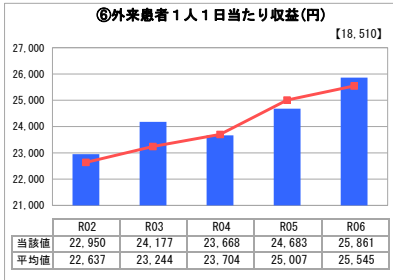
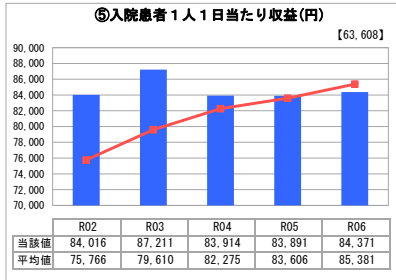
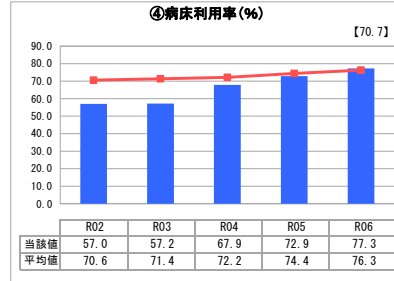
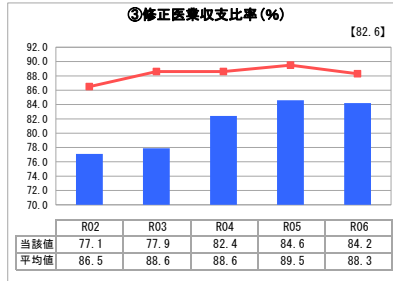
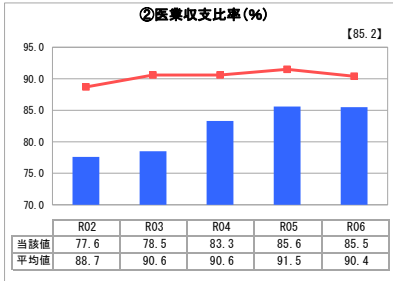
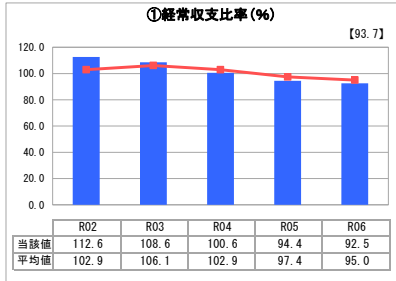
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
626	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
38	8	672
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
542	-	542

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

[ ] 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の形態・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### I 地域において担っている役割

市民のため、「最後のとりで」として地域の医療機関を支える。

- ・救急医療、災害医療、周産期医療、小児医療や精神科救急などの民間の医療機関のみで担うには限界のある医療など、政策的な医療を担う
- ・高度急性期病院・地域医療支援病院として地域の医療機関を支える
- ・北海道・札幌市の将来の医療を担う人材を育成する

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

・全病床672床に対する病床利用率は77.3%、延入院患者数は189,641人となり、前年度と比べ年間10,292人の増となった。これは地域の連携医療機関への訪問活動の強化による紹介患者数の増加や救急患者の受入れの増加が影響したものである。

・入院・外来患者数の増加などにより収入は増加したが、物価高騰、労務単価の上昇による支出の増加に伴い、令和6年度の経常収支比率は100%を下回った。

・入院単価は、診療報酬改定の影響により前年度から増加している。

#### 2. 老朽化の状況について

・建築から25年以上が経過し、有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率ともに高い数値となっていることから、計画的な施設の更新等を検討していく必要がある。

### 全体総括

・施設の活用度合いを示す病床利用率は、前述した紹介患者数や救急患者の受け入れ増などにより、前年度に比べ4.4ポイント回復している。しかしながら、コロナ禍前の令和元年度の水準までは回復しておらず、コロナ禍で減少した入院収益を増加させ、経営を安定化させることが必要である。

・中長期的な経営改善に向けて、中期経営計画に基づいた取組を推進していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。